

## 6月29日(土) 第63回総会 心ズキズキワクワク

### 小山 堅さん (76期) が講演

#### 演題：激動の内外エネルギー情勢をどう見るか

関東同窓会では6月29日(土)、東京都千代田区一ツ橋の如水会館で第63回総会を開催します。昨年同様、コロナ禍以前の形式での開催となります。小山堅さんの講演に続いて総会、アトラクションは鏡味正二郎さんの太神楽と、同窓生で立川流の落語家、立川談慶師匠(82期)の夏の一席、そして立食形式での懇親会です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

### 太神楽と落語も立川談慶師匠の演目は



小山 堅さん

講師の小山堅さんは、上田三中出身で高校時代は軟式テニス班、早稲田大学院経済学研究所修士課程修了後、(財)日本エネルギー経済研究所に入所し、国際エネルギー情勢の分析とエネルギー政策の研究に邁進され、2001年には英国ダンディ大学博士号(PhD)を取得、現在、専務理事 首席研究員として活躍されています。2023年にはOPEC(石油輸出機構)賞の研究賞を受賞されました(アジアからは初めての受賞者、会報107号参照)。講演会では、エネルギーを巡る国際情勢の変革期で厳しさを増す世界のエネルギー地政学において、政治・経済・社会の現実を冷静に読み、変化を見据えた対応を打つための前提となる最新のエネルギー情勢についてお話ししていただ

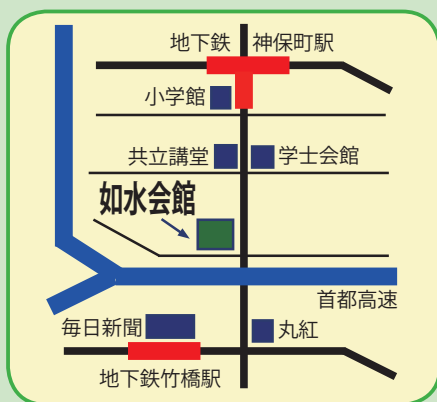
く予定です。

総会に続いては、落語の前座として、江戸末期からの寄席芸能(伝統芸能)である太神楽を太神楽曲芸師の鏡味正二郎さんに披露していただきます。そして立川談慶師匠(82期)の落語です。談慶師匠は2020年の新年会以来4年ぶりの登場です。演目は当日のお楽しみみです。存分に楽しんでいただけるはずですよ。

懇親会は卒業期ごとにテーブルを用意します。同期会としても交流を深めていただけますので、ぜひ、第63回総会へご参加ください。



立川談慶さん



### 第63回総会

【日時】 2024年6月29日(土)

11:00 受け付け開始

12:00~16:30 講演会、総会、太神楽・落語、懇親会

【会場】 千代田区一ツ橋2-1-1 如水会館 ☎03-3261-1101

【会費】 8,000円(100期以降は6,000円)、学生は無料

【交通】▶地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線の神保町駅下車

A8, A9出口 徒歩4分

▶地下鉄東西線の竹橋駅下車 1b出口 徒歩4分

## 第63回総会に寄せて

関東同窓会会長 矢島基美 (72期)



矢島基美会長

いよいよ関東同窓会第63回総会が近づいてまいりました。その概要につきましましては、本号の案内記事などをご覧いただくこととして、ここでは、会長としていくらかご挨拶申し上げることにいたします。

会長に就任して1年、同窓会なしいは同窓会活動といったものについて思いをめぐらせることが少なくありませんでした。私自身、ここ10年ほど、出身大学における学部同窓会の結成や運営に携わってきたが、そこでも、同窓会なるものの存在意義とともに、どこか限界のようなものを感じるがあったのです。そして、つい最近、そのような思いを改めて抱かせる出来事がありました。

まだ肌寒い2月半ば、戦後憲法学を牽引された碩学のひとり、故芦部信喜先生の生前の学術資料を調査するため伊那谷に向いた折のことです。芦部先生は旧制伊那中学、現伊那北高校のOBで、そ

のご縁から、芦部先生の学生時代の講義ノート、助手時代の研究ノートなどの一部が母校同窓会に寄贈されました。それらの貴重な資料を閲覧する私どものために、伊那北高校同窓会が所有し、管理する同窓会館の一室が用意されました。

この同窓会館は、校地に隣接して2棟並んだ2階建てのうちの新棟に当たる1棟でしたが、実は同校のOBでその学校長を務めた方の高額の寄付を基に、同校創立90周年記念事業として特別研修施設用に建設されたものです。その由緒を記した扁額が玄関脇に掲げられているため、課外の自主学習で日常的に利用する現役生徒たち

もそうした事情をよく知っているようです。母校愛といえればそれだけの話かもしれませんが、同窓生に思いを致す篤志の高さのほどには大いに感じるものがありました。

その一方で、滞在中、同校の先生にお伺いした話には驚かざるをえません。上伊那農業高校、駒ヶ根工業高校を含む実業系の4校(科)の再編統合のみならず、伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校も4年後を目途に統合するというのです。もちろんその背景に今後さらに進行する少子化があることは明らかで、上下地域でも同様の動きが生じないとは限りません。

2024年総会に向けて  
総会実行委員長 鶴澤省一 (76期)

鶴澤省一さん

第63回総会の実行委員長を務めさせていただきます鶴澤省一(76期)です。昨年は5月に新型コロナウイルスが5類に移行してコロナ明けの年となり日常を取り戻すスタート

の年となりましたが、今年にはウクライナ侵攻の長期化、イスラエル・ハマスの衝突に加えて1月1日に能登半島地震が発生し、いまだ復旧の過程にあり日常が取り戻せない地域、方々が多数いらっしゃると思います。私も1月1日は上田の実家に滞在しており長時間の横揺れに驚きました。関東同窓会の会員、上田高校卒業生の被災された

はなく、時代や社会の変化による影響をおのずと受けることにもなります。そのことを十分に認識しつつも、母校の歴史や伝統、気風や気概、さらにいえば、卒業生ならではの誉れや誇りといったものは一体どのように転じていくことになるのでしょうか。

そして、そのことは、今般のごとき統合再編の場合に限らない気がします。高齢化によって世代が広がり、それにとまなう人生観、価値観などの違いを前にするときに、そもそも同窓会は、いかなる目的のために存在するのか、そこで想定される目的をもってすれば幾久しく存続していくものなのか、当たり前のように思われていない、なかの難問を、少しでも解いていくことが今の私たちには求められているように思われてなりません。

方、影響を受けご苦労されている方に謹んでお悔やみを申し上げるとともに心よりお見舞い申し上げます。

今年の総会は昨年が続いて「講演会」「総会」「アトラクション」「懇親会」のフル形式での開催となります。実行委員は76期、81期を中心に86期、91期、96期にて務めさせていただきます。暗い世相を吹き飛ばすべく実行委員一同頑張る準備を進めております。

講演会は一般財団法人日本エネ

ルギー経済研究所の小山堅専務理事(76期)に「激動の内外エネルギー情勢をどう見るか」をテーマに話していただきます。小山さんは東京大学公共政策大学院客員教授、東京工業大学科学技術創成研究院特任教授も務めており、昨年に石油輸出国機構(OPEC)賞の研究賞をアジア人として初めて受賞した国際エネルギー安全保障の第一人者です。

アトラクションは今年も趣向を変えて上田市出身の立川談慶師匠の落語と鏡味正二郎さんの太神楽を予定しています。にぎやかなひと時を楽しんでいただくとともに、懇親会では旧交を温めていただければ幸いです。

76期は今年人生の大きな節目を迎える65歳となります。私ごとですが昨年上田の実家の敷地内にセカンドハウスを建てて月1、2回は上田に滞在しており、高校までに過ごした時代と比べて中心市街地の衰退の半面、大型ショッピングセンター、ロードサイド店舗の充実によって暮らしやすくなっていくことを実感しています。今後はさらに上田での生活のウェイトを高くして本部の同窓会活動にも参加して関東同窓会との交流の一助になればと考えています。関東同窓会会員の皆様のご健勝と関東同窓会の一層の発展を祈念しております。





# 副実行委員期のご挨拶と81期の皆様へ

## 第63回総会

今年、辰年のはじまりは決して穏やかではありませんでした。私たち81期はこの辰年、巳年生まれの学年です。世間的には還暦を迎える年で、人生の転機を迎える方も多いと思います。

私たちが関東同窓会総会に初めて出席したのは、前回の辰年より少し前だったと思います。その時は、仕事や子育てに少し余裕ができたこともあって何となく参加したのですが、「思ったより楽しいな」と感じたのを覚えています。それ以来、出席できる時に無理なく参加し、その度に久々の再会や世代を超えた交流など楽しい時間を過ごし、元気になる気がします。そしてあつという間に干支がひと回りした今年の総会は、ついに副実行委員期となり大変緊張しています。

関東同窓会では高校時代には考えられなかった出会いや再会があります。先輩後輩、また当時は話したことがなかった同期など、交流は思いのほか楽しく、話してみると意外なつながりがあったりして驚くこともあります。まだ参加されたことのない同期の方も多数いらっしゃると思いますが、最近は前後2〜3年がまとまって交流会などもあり、何となくですが若

返る(気がする)ようにも思います。年に一度の総会は、初めて参加される方、久しぶりの方も楽しんでいただける会になるよう考えられています。

そして……ここで同期の皆様にご挨拶させていただきます。今年6月29日(土)総会当日は、受け付けや会場準備など人手が必要になります。お手伝いしてもいいよーという方が少しでもいてくださったら嬉しいです。お手伝いは当日ご参加いただけるだけで大丈夫です。事前の連絡はメールなどで、なるべくお手数をおかけしないように致します。下記のQRコードからメールにて参加表明していただけるだけで結構です。



第63回総会副実行委員期(81期)の左から横関正人さん、服部みどりさん、石田みどりさん(新年会で)

## 総会アトラクションの紹介

今年の総会アトラクションは82期、立川流・立川談慶(たてかわだんけい)師匠による落語をメインに前座には談慶師匠が懇意にしている太神楽(だいかぐら)曲芸師の鏡味正二郎(かがみせいじろう)さんによる太神楽を披露いただきますので併せてお楽しみください。

立川談慶師匠は本名青木幸二、丸子町に1965年に生まれました。上田高校に入学後一年次に山梨県の駿台甲府学園付属甲府高校に転校しその後、慶応大学経済学部に進学し大学では落語研究会に所属。大

学卒業後は(株)ワコールに就職しましたが落語への情熱が冷めず1991年に立川談志師匠に弟子入りし立川ワコールなる前座名で修業、2000年の二つ目昇進を機に談志師匠の命名で立川談慶に改名。2005年には晴れて真打

上田高校関東同窓会 81期代表幹事  
横関正人 服部みどり



ち昇進が成り現在まで活躍中です。

今後はこれまで温めていた年応の人情物も積極的に演じていきたいと意欲的な様子。総会での演目は後日の決定となりますが談慶さんの会場を一色に染めていく話芸にご期待ください。

一方、前座の太神楽は古くは神事としての神楽の一種であったものが江戸時代末期から寄席芸能として広く大衆の人気を集め発展した曲芸です。お正月のような祝いの日に傘で毬や枡を回したり、くわえた撥(ぼち)の上に土瓶を乗せたりする芸ですが一人前になるまでは15年もの年月を要すると言われています。

鏡味正二郎さんは本名 松田正史、埼玉県新座市に1972年に生まれ1995年に国立劇場の太神楽人材育成コースにて第一期生として研修を開始。1998年にポンポンブラザーズ鏡味繁二郎師匠に入門し現在まで活躍中です。甲高い声でコミカルな表情の正二郎さんによるハラハラドキドキの曲芸をお楽しみください。

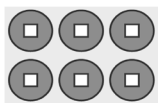
(金井 正76期)



鏡味正二郎さん

# 76期

## 祝! 第63回総会



### 76期有志一同

今年は私たちが総会実行委員当番期です  
76期一致団結して総会・懇親会を成功させましょう!  
皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください

2024年は「ジェンダー革命」「性差別撤廃」の年です。  
夫婦別姓訴訟、同性婚訴訟、性同一性障害など、重要な裁判が目白押しです。日本が、1日も早く国際的な標準に到達し、差別や不平等がない社会になりますように……

千代田区神田小川町1丁目1番地  
〒101-0052 山碁ビル8階 山浦法律事務所

弁護士 山浦善樹 (63期)

TEL 5244-5372 [yamax@nn.ij4u.or.jp](mailto:yamax@nn.ij4u.or.jp)